

2040~2045

IN-4

鳥取県の雪、酷暑、曇天などの過酷な環境など一見マイナスに見える点と技術を組み合わせる逆転の発想でイノベーションが多発するようになる

概要

大雪や酷暑、短い日照時間といった過酷な気候、人口減少による空き家の増加など、鳥取県は様々な自然的・社会的困難に直面している。

そういった環境下だからこそ、身近な課題を解決するためのアイデアやチャレンジする人材が生まれ、事業化も進みやすくなる。

例えば、雪による発電や冷却手法の開発、砂電池の改良といった技術的なもの以外にも、曇天をポジティブに捉え直すアート活動や、空き家を使った拠点整備など、逆転の発想を用いた価値観の転換を伴う活動が生まれていく。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

鳥取県は気象条件の悪い、住みにくい土地



これからは

鳥取県は世界各地に適用可能な"事業の種の宝庫"であり、人間が成長するために最適な土地